

賑わいの神門通りにむけて

神門通りの道づくり

其の五

平成22年
12月15日

島根県
出雲県土整備事務所
都市整備グループ
電話：30-5666

第五回ワークショップ開催

桑子先生がしめくくり

十一月二十九日の夜、出雲商工会において、第五回神門通りの今後の整備を考えるワークショップを開催しました。

この回が最終回ということで、これまでのグループディスカッションというスタイルではなく、椅子だけを扇形に並べて全体で意見交換を行いました。

バイタルリードの森山氏から岡山県勝山町の「のれん」のまちづくりの事例、鳥取県鹿野町の建物修景による町なみづくりの事例の紹介の後、桑子先生から「住民参加、住民主体のまちづくり、地域づくり」をテーマに、長野県志賀高原の地域づくりの事例、宮崎県の

宮崎海岸浸食対策事業の事例を紹介いただきました。

また、この日のワークショップの数日前から開始された神門通りの社会実験の様子について、県都市計画課からは、車道幅を2m狭め、5mにしたことよって、車のスピードが低下したこと、歩道幅が3・5mとゆつたりしたことにより、歩行者の安全性、快適性が向上したことが報告されました。



神門通りで商売をされているグループである「神門通り甦りの会」の方からは、大黒様めぐりのイベント、町の案内人事業、軽四朝市の開催、瓦版の発行など、多彩な取り組みにより町の賑わいづくりに大きな役割を果たしていることが紹介されました。

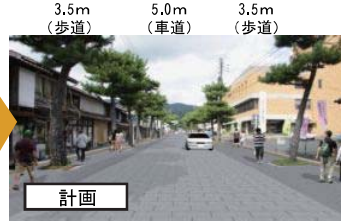
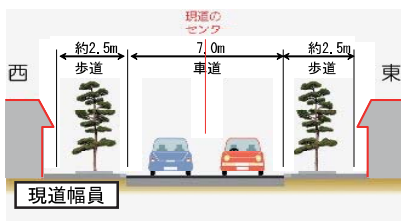
ワークショップの議論では、「にぎわいの神門通り」を目指すために、駐車場の確保といったハードの整備、大黒様でイメージキャラクターをつくってご当地グッズを販売するなどのソフトの方策が数多く出されました。

神門通り 道づくりの方針

にぎわいの復活のために、安心して楽しみながら歩ける道を目指す

人と車が譲り合う道（シェアスペース：共有空間）を検討中

歩道を広げ、車のスピードを落とす工夫をします



勢溜まりの交通安全対策

交差点の改良を実施

- 歩道の設置
- バス停の整備



交通部会で歩行者の安全対策と車の速度低減策について引き続き検討します

景観対策

<住民の意見から>

- ・出雲大社の参道にふさわしい風格のある舗装
- ・建物の統一感がない
- ・看板の統一感がない
- ・電柱が景観を阻害している



- ・石畳舗装の採用を検討
- ・出雲市において住民の方々と町なみづくりの話し合いを進める
- ・景観整備補助を活用する
- ・無電柱化の検討を進める

にぎわいづくり

<住民の意見から>

- ・空き家が多くて寂しい
- ・ポケットパークがあるとよい
- ・足湯スポットがあるとよい
- ・通りにトイレがあるとよい
- ・電鉄駅を観光に活用
- ・ところどころにベンチを設置してほしい

県と市が
地元と連携しながら
引き続き検討します

にぎわいづくりのための課題

●道づくり、車のスピード対策

- 大型バスのすれ違いがある。
- 無理な横断が危険。
- 車道をこえて反対側の歩道に行くのが大変。
- 路上駐車が危険。マナー・ルールづくりが必要。
- 夜間の歩道・車道の区別が分かりやすいように。
- バイクのスピード抑制はどうか？
- 車両通行の方向が今回の社会実験は相互方向ではあったが、一方通行を考えた施策を。
- 歩行者が車道に出て危険。境界ブロックを設置して欲しい。
- 道路幅5メートルで双方交通は無理。一方通行にするか、大型車規制にするか考えて。
- 歩道の整備（水路部分を含む）。現状はデコボコ。→解決策としてフラットにし、高さを均一、色を含め、統一。
- 歩道が松の木で分断されるのはおかしくないか。

●町の案内が分かりにくい

- 観光案内所（ビジターセンター）の充実。（現在電鉄駅舎内にあるが、分かりにくい）。
- 分かりやすい案内板（なるべく数少なく）。
- 路線バスにも観光案内を（出雲市駅からの観光客が多いが、バスに乗っても何も案内なし）。
- 出雲大社観光ガイドの事務所（案内所）をつくる。

●お店の情報分かりにくい

- お店などの情報を得る場所がない。
- どこにどんな店があるのか観光客にはわかりにくいのでは。
- 蕎麦屋マップが欲しい。
- 蕎麦の食べ方を教えて欲しい。

●空き店舗・家

- 空き家が多い。空き店舗対策。空き店舗



の活用。

- 空き家の再生（住民主体）。
- 駐車場、空き地が多すぎる。
- 古い建物、店を入れたら素敵になりそうなのに、空き家のまま。このままでは取り壊される！？
- 商店が連らなっていない。店舗が少ない。もっと出店を！
- 地元の人たちの出店が少ない。
- ほとんどの店が夕方5時頃閉店してしまう。

●歩いてもらう工夫

- 神門通りだけでなく、他の通りも視野に入れた面で活性化が必要。
- 出雲大社は本殿だけでなく、外へも足を伸ばせる環境づくりにつなげていく。
- 観光客にとにかく歩いてもらわないと。ポケットパークやベンチばかりできて・・・。
- 宇賀橋から北を歩かせるためには手前の駐車場が不足。駐車場を増やして。

●松の生かし方

- ただ並んでいるだけの松の木がもったいない。
- 松くい虫被害や松の老朽化が進めば

松並木の景観が壊れるのでは？

- 松の木は全て残すのか？

●地域資源

- 地域産業を定着させる。一時的ではなく。
- 地域資源を活かし活発にするのはよくある。

●歴史とのネットワーク

- 歴史博物館と神門通り、出雲大社との観光客歩行動線のつながりが弱い。歴史博が観光資源として生かされていない。

●交通広場の改良

- 交通広場の出入り口も1箇所欲しい。
- 旅行シーズン（土日連休夏休み）車が広場に入れない状況のため、誘導員をつけるように考えて。

●宇賀橋の改良

- 宇賀橋の拡幅と撮影スポットの設置。

●通りがさびしい

- 勢溜まりから入るときの大鳥居の見え方がさびしく、奥まで歩きたいと思わない。

課題解決の方策

●道づくり・交通

- 路駐防止のために緑台を利用。
- 勢溜まり前の交差点は神門通りと同じ石畳に。
- 2～3人が横に並んで歩ける道に。
- ゆったり安心して歩ける歩道の確保（社会実験で行われている3.5mは実際に歩いてみてよかった）。
- 歩道の幅は是非広げて欲しい。
- 歩道の中でもベンチ等が置かれる所には車道の間にポールを。
- 観光バスの迂回を是非進めて。

●まとまった駐車場の確保、場所

- 道の駅、吉兆館前の駐車場の利用。
- 神門通りに駐車スペースを設ける。観光客が駐車場以北しか流れない。
- 大鳥居以南（付近）に駐車場を設ける。
- 通りの中央に交通広場があると神門通りを歩かない。
- 観光客向けの駐車場は大鳥居近くに。（観光客に歩いてもらう）
- 駐車場を有料にする。

●新しい施設・店をつくる

- 現在、、みやげもの屋が多いけれど、もっと飲食店など多様な業種が入ったほうが面白い。

- 交通広場のトイレ案内を分かりやすく。
- 糸操り人形店、神楽面展示・工房、かまぼこ工房、板絵。
- 通りに美術館・博物館・劇場など欲しい。
- 歴博西側道路沿いに町並みの統一された観光施設を新たにづくり、出雲大社・神門通りとの周遊動線を新たに作る。

●今あるものを整備して活用

- 人を集める足湯など温泉の有効活用。
- 出雲大社駅を下りた時に出雲を感じられる町並みに。
- たまり場の開発。
- 松並木の整備。

●にぎわいづくりに向けて、ソフト

- お店や神門通りについての情報マップをつくる。
- 神門通りのストーリーの定着、神の門、4つの鳥居←幸せの4つの鳥居。
- 大黒様でイメージキャラクターをつくってご当地グッズ。大黒様スタンプラリー。
- 夜店が早く閉まり通りが真っ暗になる。神門通りを灯明でつなぎ、「夜の神門通り」「明かりの神門」に。
- 建物の軒に赤提灯を連ねる。

- 現在ある外灯の活用。

●お店

- 蕎麦屋通りにしていく。
- 空き家、空き店舗をカフェなどに再活用！
- 土日のみのチャレンジショップ。

●人の意識をかえていく！

- 人と人とのふれあいを増やす（市民の意識改革）。
- 神門通りを整備・改修していく上で住民参加の現場体験型ワークショップを行う。

●社会実験に対する要望

- 社会実験中央線をもっと見えなくして実験して欲しい。
- 周辺の通り（神迎え通り等）と協働し、一体的な賑いに。
- 大鳥居→畑電鉄の間に見所をつくる！人を誘導させる仕組みを！

「神門通り甦りの会」の取り組み

神門通り甦りの会とは、出雲大社の門前町である神門通りを愛する商店主、住民、広くファンからなる団体です。神門通りの甦りこそ町おこしと確信し、合言葉は「南へ南へ」。信条は「まず行動、行動しながら考える」「金はなんとかなる」。



賑わう軽四朝市（毎月開催）



神門通りのマップ



だいこくさま石像除幕式



瓦版の作成

交通社会実験の実施



十一月二十五日より、神門通りの交通実験がはじまりました。車道を5mまで狭めるとともに、中央線をなくし、ゆったりした歩行者空間を設けました。また、空き店舗を活用して社会実験のPRやアンケートを実施したり、沿道にベンチを設置し、道ゆく人が休憩できるようなするなど、様々な試みがなされました。

この様子はテレビのニュースでも報道され、道ゆく人からは、「とても安心して歩ける」など、好意的な声が多く出されていました。



道づくりPR館の中ではアンケート



空家を活用した神門通りの道づくりPR館



バスがくるとさすがに狭い



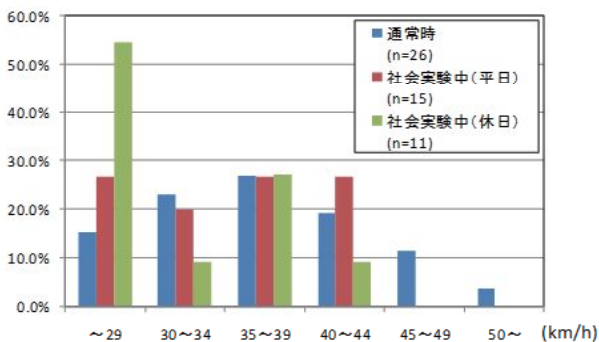
ベンチを置いてゆったり楽しめる道に



歩行空間を1m広げた

いずれも緑結び本舗前の速度分布

	計測台数	平均速度	最高速度	最低速度	標準偏差
通常時	26台	37km/h	52km/h	21km/h	7.4km/h
社会実験中(平日)	15台	34km/h	42km/h	22km/h	6.4km/h
社会実験中(休日)	11台	31km/h	41km/h	25km/h	5.6km/h



岡山大学・橋本先生からの報告

車両速度が低下しました

社会実験中(平日)は通常時と比較して平均速度が時速三十キロほど低下しており、さらに社会実験中(休日)となると通常時より六キロほど低下していることがわかりました。

社会実験中においては最高速度も大幅に低下し、また社会実験中(休日)では時速三十キロ以下で走行する車両が多いことがわかりました。

車両速度調査の概要 (実施：岡山大学橋本研究室)

■計測日

- ・通常時 十一月一日(月)
- ・社会実験中 十一月二十八(日)～十一月二十九(月)

■調査対象区間

竹野屋前交差点から神門通りギャラリー雲太前交差点停止線まで

■集計対象車両

- 直進車両※
- ・通常時 二十六台
- ・社会実験中(平日)十五台 (休日) 十二台

※出雲大社前T字路交差点から調査対象区間へ直進進入し、神門通りギャラリー雲太前交差点の信号で停止せず、調査対象区間を直進通過する車両
※社会実験中の車両に関しては対向車の有無別に集計可能であり、今回は対向車有りの車両のみで集計を行っている。なお、「対向車有り」とは、調査対象区間において計測車両が一台以上の対向車両とすれ違ったかどうかで判断している。

今後の進め方について

島根県主催の神門通りの道づくりワークショップは、今回で終了となりましたが、今後は、出雲市役所が中心となり、沿道の住民、業者のみならず、町並み形成のためのルールづくりについて、話し合いの場を設けていく予定です。本ワークショップで景観面からアドバイスをいただいた、近畿大学の脇田先生に継続的にご協力いただくこととしています。

参加された皆様、五回にわたり熱心にご議論いただき、大変ありがとうございました。

郵便はがき

6 9 3 - 8 7 9 0

065

料金受取人払郵便

出雲支店
承認
1596

差出有効期間
平成 23 年
3 月 31 日まで
切手をはらずに
お出しください

出雲市大津町1139番地
島根県出雲県土整備事務所
土木工務部 都市整備グループ 行



該当するものに○をつけてください

- ①住所 a. 神門通り近隣 b. 大社町内 c. 大社町外
- ②性別 a. 男性 b. 女性
- ③年齢 a. 20 歳未満 b. 20 歳代 c. 30 歳代
d. 40 歳代 e. 50 歳代 f. 60 歳以上
- ④職業 a. 会社員 b. 自営業 c. 農業
d. 公務員 e. 主婦 f. 学生 g. その他 ()

※以下は記入されなくても結構です

〒 _____ 電話 _____
 名前 _____ 住所 _____

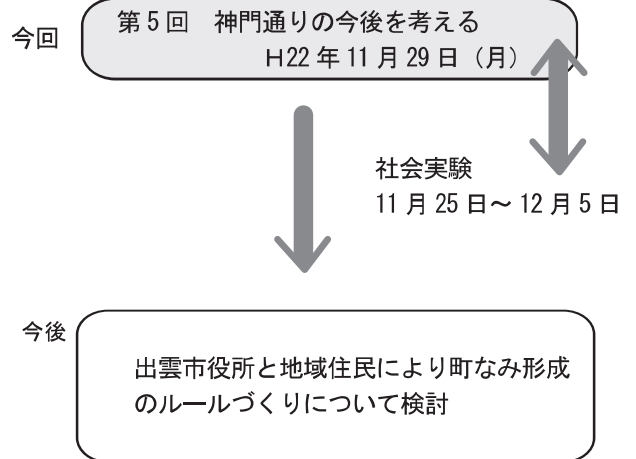
スケジュール

第 1 回 神門通り整備を考える
H22 年 7 月 25 日 (日)

第 2 回 神門通りの使い方を考える
H22 年 9 月 6 日 (月)

第 3 回 神門通りの景観を考える～1
H22 年 10 月 4 日 (月)

第 4 回 神門通りの景観を考える～2
H22 年 11 月 1 日 (月)



住民主体のまちづくりの事例

桑子先生からの報告



長野県志賀高原における地域づくりの検討風景



宮崎海岸の侵食対策をみんなで考えよう！
第3回宮崎海岸市民談義所開催！

国土交通省と宮崎県は、県民の大切な財産の宮崎海岸（一ツ瀬川河口～みやさき臨海公園北側）の侵食対策の検討を進めています。
 宮崎海岸市民談義所とは、この大切な宮崎海岸をどのように未来に引き継いでいくのか、みんなで考え、みんなで議決する場です。
 みなさんの参加をお待ちしています。

と き：平成21年7月25日(土)
 18:00～21:00
 ところ：佐土原総合文化センター
 1階新増室
 内 容：★第3回技術分科会の報告
 ★試験施工について
 参加者：どなたでも参加できます。
 日曜な進行、有意義な談義にご賛力をお願いします

【問い合わせ先】海岸まちづくり推進所(国土交通省 宮崎海岸出張所) TEL.0985-62-7050 FAX.0985-62-7051

宮崎県宮崎海岸の侵食対策の検討に際して市民談義所を開催

賑わいの町なみづくり事例

森山氏からの報告



岡山県勝山町の「のれん」で統一した町なみづくり



鳥取県鹿野町の景観修景補助をうけて改修した民家

アンケート回答用紙

質問① 神門通りについてのご意見を下さい

質問② ワークショップや計画の進めかたについて
ご意見ください

質問③ ご自由に意見を下さい



4つの鳥居で幸せを
掴むぜよ
(土佐出身)

出雲大社に参拝して…

交通
アドバイザー

橋本先生のご結婚が決まりました！

今年の夏に神門通りの道づくり事業の始まりにあたって、関係者で出雲大社を正式参拝しました。その際に、ご自身のご結婚について、真剣にお祈りされた先生！半年後に本当に結婚が決まりました。橋本先生の参拝方法は、婚活中の皆さんの参考になりそうですね。

橋本先生の参拝方法

- 一. 吉兆館を見学し、奥の「糸探り人形」をじっくり見た後、神門通りを移動
- 二. 宇迦橋から、二つの川が寄り添っている堀川を見て「感動」、心の中で手を合わせる
- 三. 一礼後、大鳥居を黙って通り抜け、振り返って「小林徳一郎」の名前を確認
- 四. 神門通りを歩き、勢溜まりからは正式参拝
- 五. 四つの鳥居を通る際は、一礼後黙って歩く